

新年号

酪農

とちぎ



- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 組合長挨拶
- 3 ページ 栃木県知事挨拶
- 4 ページ 青年部部长、女性会会长挨拶
- 5 ページ 関東ブラックアンドホワイトショウ
- 5～6 ページ 東西南北（各支所）
- 7 ページ 部課だより（生乳販売課）
- 8 ページ 部課だより（業務部）、理事会だより、市場成績



迎  
春

謹んで  
新春のお慶びを  
申し上げます



# 新年の挨拶

代表理事組合長 菊池 一郎



新年明けましておめでとう  
ございます。

組合員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えることとお慶び申し上げます。日頃より、幣組合事業に特段のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

現下の酪農情勢は、飼料の高騰やTPP交渉問題、全国的な生乳生産の低迷、飲用乳価値上げに伴う消費への影響など様々な問題が山積しており、多くの酪農家は将来に對

して漠然とした不安や閉塞感を抱いているところであり、そのことが新たな投資にも踏み切れず生乳生産の低迷にもなっていると推測するところです。

こうした酪農乳業の現状を打破し、これからの酪農を担っていく酪農後継者が意欲を持って酪農に打ち込めるような環境を醸成するために、組合員の立場に立ち組合員の目線でのものを考え、少しでも元気が出せるよう組合運営に取り組む事が重要であると思います。

そのため、最終年となる「第3期中期構想」の仕上げの年として着実な推進はもとより、10年先の酪農を見据えた生産基盤強化に向け、国内粗飼料の一層の利用定着化のた

め飼料イネ（WCS）等の活用やコントラクターの推進、雌雄判別精液を活用した後継牛安定確保事業や担い手の育成支援を図るための技術支援及び配偶者確保対策に積極的にとり組んで参ります。

また、国においては農政の大きな転換が成されようとしております。これ等の動向を踏まえ、組合としても関係団体と連携の下、酪農対策の一層の充実や所得確保について、国・与野党に強く要請して参ります。

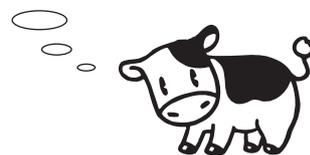
今後とも組合員の皆様のご理解ご協力、そして、行政・関係諸団体のご指導を賜りながら、より一層の発展に向け役員一体となり取り組んで参ります。

結びに、組合員の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



牛乳が、高血圧、糖尿病予防に効果があると期待されています。

今年も『牛乳飲んで、食べて』健康増進！消費拡大にご協力ください。



# 知事挨拶

栃木県知事 福田 富一



酪農とちぎ農業協同組合の組合員、役職員の皆様、あけましておめでとうございます。

日本経済は、政府が打ち出した経済政策等により企業収益の改善が進み、景気は回復しつつあります。さらに、政府は、デフレからの早期脱却と経済再生の実現に向け、「日本再興戦略」の具体化を加速しており、今年は景気回復の動きがより確かなものとなることを期待しております。

さて、昨年は、東日本大震

災からの復興を仕上げの段階へと進めるため、県を挙げて、県産農産物等の安全・安心の確保や戦略的な観光誘客対策、再生可能エネルギーの導入拡大などに取り組んで参りました。皆様の“ふるさととちぎ”への強い思いが原動力となり、着実に復興を遂げてきたと感じております。

今年も、これまでの復興の取組を推進力に、更なる高みを目指し、復興から成長・発展へと飛躍するときであると考えております。

そのため、4年目となる栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」の着実な推進とともに、「復興から力強い成長に向けた取組」、「とちぎ力」の発信」の2点を重点事項として

取り組むこととしております。

「復興から力強い成長に向けた取組」では、引き続き、風評被害の払拭、指定廃棄物の処理など東日本大震災に係る課題の解決に向け、取組を着実に進めていくとともに、「日本再興戦略」に呼応し、本県の農林水産物等の国内外への売り込み、さらには国内外からの観光誘客促進などの取組を進めて参ります。「とちぎ力」の発信」では、本県が全国に誇る多彩な地域資源や質の高い農林水産物等のとちぎの魅力・実力に更に磨きを加けるとともに、オール栃木体制で発信力の強化を図り、全国の人々を惹きつけ、本県が様々な分野で選ばれるよう取り組んで参ります。

また、農業において、国では、米政策や経営所得安定対策の見直し、日本型直接支払制度の創設、6次産業化の推

進など、農業政策の大転換を図り、強い農林水産業を創ろうとしており、本県もこの改革に的確に対応していく必要があります。

このような中、酪農については、配合飼料価格の高騰などの各種資材費や原発事故の影響など、厳しい状況が続いておりますが、県では、酪農経営の安定化を図るため生産コストの低減や安全安心対策に取り組むとともに、6次産業化による農業の高付加価値化についても積極的に推進して参ります。

年の始めに当たり、私の所信を申し上げますとともに、酪農とちぎ農業協同組合の皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。まして、新年のごあいさつといたします。



## 新年の挨拶

青年部部長 小森 崇宏



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、益々ご活躍の事とお慶び申し上げます。部員の皆様、組合役職員の皆様には青年部活動に対し、格段のご協力とご指導を賜り、書面を拝借して厚くお礼を申し上げます。さて、平成25年は青年部にとって、非常に充実した1年だったと思います。恒例のボウリング大会・ソフトボール大会には、数多くの部員が参加し、各支部共にチームワークを発揮して、まさに熱戦が繰り広げられました。2年目となった家族交流会は、参加家族も増え、たくさん笑顔が溢れる交流会となりました。10月には、横浜で開催された「ワールドデーリィサミット」を視察しました。短い時間で

はありましたが、世界の酪農・乳業に触れ、視野を広めることができました。那須烏山市の幼稚園、大田原市の小学校を対象に行った搾乳体験では、本部役員を中心に、部員の皆さんの協力を頂きながら実施することができました。本部の搾乳体験は2年目という事もあり、体験車の準備片付け、体験中の役割分担など、一人一人が積極的に行動し、スムーズに行なう事ができました。

昨年10月に飲用乳価が引上げられたものの、飼料価格は高止まり、消費税の増税が決定されるなど、酪農経営は厳しい状況が続いております。政府は農業を成長産業ととらえ、様々な改革方針を打ち出していますが、T P P交渉の行方も予断をゆるさず、平成26年は、酪農業界の未来を左右する重要な1年になるような気がします。厳しい状況に流されず、その中にあるチャンスを探り、生かせる様、今年も我々青年部は、各種事業を通じて親睦を深め、若い力を結集して、与えられた役割を担い、明るい酪農業界を願い活動して参ります。最後にになりましたが、本誌読者の皆様の益々のご発展とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

## 新年の挨拶

女性会会長 増山 英子



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては益々ご活躍の事とお慶び申し上げます。女性会会員の皆様、組合役職員の皆様には女性会活動に対しまして格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、女性会では本年度の活動統一テーマとして掲げました「牛乳の消費拡大 我が家から」と「徹底しよう 記帳と防疫」の二つの項目を念頭に各支部を中心に種々の活動が展開され、徐々に成果が上がっていると感じているところです。家族経営が多い酪農に於いて、女性の果たす役割が大きいのは言うまでもありません。酪農を取り巻く環境がどの様に変わるとしても、国民の命を支える食糧として安全で安心な牛乳を生産す

る事に自信と誇りを持ちながら、女性ならではの何事にも前向きな姿勢と、細やかな感性を生かし、明るい家庭管理をすると共に、牛舎にこまめに足を運ぶ事で、更なる経営向上を成し得る事ができるのではないのでしょうか。

また、酪農経営において後継者の確保も大変重要な課題です。当組合では担い手婚活支援事業の推進が行われていますが、次世代、国にとっても大切な事です。女性会では、全体研修会をホテルエピナル那須にて開催いたしました。講師に全国各地域結婚支援センター代表の板本洋子氏を迎え「結婚を考える」と題し講演を頂きました。結婚への成婚率は85.9%とお聞きしました。今後も組合の支援事業の継続をお願いし、女性会も思いを共有し活動する事で、酪農の繁栄の一助となれば幸いです。

本年も引き続き防疫体制の強化を図りながら、より安全で、安心な牛乳を生産し、消費拡大運動に取り組んで参ります。これからも女性会活動に対しまして、ご支援、ご協力を賜ります様宜しくお願い致します。最後になりましたが本年も皆様の益々のご発展とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



# 第9回 関東B & W ショウ 開催

11月13日、茨城県中央家畜市場にて、第9回関東ブラックアンドホワイトショウが開催されました。ホワイトショウが開催されました。各都県より129頭（栃木県より21頭）が出品され、審査はデイビッド・クラック氏（アルタジェネティクス）によって行われました。

審査の結果、グランドチャンピオンには、東京都の北島隆さん出品のロイが輝きました。本県からは、インターメディアイトチャンピオンに鷹箸稔さん出品のゴールドウィン、また同リザーブに高塩浩典さん出品のダンディーが入賞しました。誠にありがとうございました。



## 第9回 関東ブラックアンドホワイトショウ 入賞牛一覧

開催期日：平成25年11月12日～13日  
開催場所：茨城県中央家畜市場（小美玉市）  
審査員：デイビッド・クラック氏（アルタジェネティクス）  
出品頭数：129頭

出品番号	生年月日	名号	父名号	出品者	
				住所	氏名
<b>ジュニアチャンピオン</b>					
505	H23.12.15	KCF BB アットウッド スリック	メーブルダウンスアイ GW アットウッド ET	群馬県吾妻郡長野原町	北軽ヤクマンジジケート
<b>リザーブジュニアチャンピオン</b>					
212	H24.8.24	ナカコー プライド アイオン ローマ RED フタゴ	ミッドフィールド CCM アイオン	群馬県吾妻郡中之条町	群馬県立中之条高校
<b>インターメディアイトチャンピオン</b>					
903	H22.3.11	330 タカノハシ トリプル ゴールド ミックス ET	ブレイデール ゴールドウィン	栃木県日光市	鷹箸 稔
<b>リザーブインターメディアイトチャンピオン</b>					
614	H23.6.18	ハーネスファーム ダンディー スター ルル	レーガングレスト ダンディー ET	栃木県那須塩原市	高塩 浩典
<b>シニアチャンピオン（グランドチャンピオン）</b>					
1002	H21.10.1	エヌアイファーム エルミサー ジャクス ロイ	ロイレーン ジョーダン ET	東京都町田市	北島 隆
<b>リザーブシニアチャンピオン</b>					
1008	H21.7.22	ラプリーファーム クインジス ゴールドウィン	ブレイデール ゴールドウィン	群馬県高崎市	長坂 仁司

# 東西南北

## 那須高原支所

### 支所活動推進協議会講演会開催

「心と運動のつながり」

～実践で体感！～

12月10日、支所活動推進協議会（臼井勉会長）による講演会を組合員及び関係者含め約60名の参加者を得て、宇都宮記念病院総合健診センター保健看護部 総括師長 千葉暢子氏・保健師 野澤祐子氏を招き開催いたしました。

テーマとして、現状の酪農を取り巻く厳しい状況の中、組合員各位が心身ともに健康で明るい営農活動をしていただくとのコンセプトでお願いしたところ、快く引き受けていただきました。

講演では

人の健康には（人と人との）

つながりが大切である

「感謝は幸せにつながる」

「運動によって精神が安定する」

ということ、前半は講演・後半は簡単な運動の2部構成で行われました。

腹式呼吸から立ち姿、ウォーキ

ングなどの運動療法のレッスンとその話題を参加者の意見を聞きながらお互いのフォームをチェックしあい、楽しい雰囲気の中で進めていきました。次にフォークダンスを踊り、最後に心の中で思っている感謝する気持ちを手紙にしたため心の中をさらけ出し、それを披露するという訓練も受けました。フォークダンスで楽しい気持ちになり、その影響で素直な気持ちになった皆さんもそれぞれの思いを表現しました。夫婦で参加していた方がお互いをいづくしむ優しい手紙の内容に清々しい気持ちになり講演を終えました。

参加者全員が笑い、体験して楽しい時間を過ごすことができました。



# 宇都宮支所

## 支所活動推進協議会全体研修会

### 「酪農セミナー」開催

12月12日、宇都宮支所研修室において、支所活動推進協議会（小林幸雄会長）による「酪農セミナー」が開催されました。

今回は当組合の齊藤達夫技術顧問に、「酪農家を見て感じる」と題し、県内で特徴ある酪農家の事例紹介と、氏がこれまで酪農に携わって得た経験から、酪農経営で大切なこと、親子の係わり方等について、講演いただきました。以下、講演内容の要旨をご紹介します。

前半に紹介された「特徴ある酪農家」に共通していることは、

- ① 良く働く
- ② 自己責任感が強い（結果を他人のせいにはしない）
- ③ 地域資源を有効活用している（自給飼料生産、稲わらの利用、食品残さの利用）

の3点であり、いずれの経営も立地条件に合わせた工夫がされています。各経営について詳しく知りたい方は別途お問い合わせいただければと思います。

輸入飼料価格の高騰で、自給飼料の重要性がますます注目されておりますが、面積を拡大しなくてもデントコーンにおいては、欠株

を無くすことや適正な管理（除草剤散布のタイミング等）によって収量を上げることが可能であること、水田をうまく利用する（WCS、稲わら、モミガラ）ことなど、厳しい情勢下においても、まだまだ取り組めることがあるということ話を頂きました。



酪農経営内の障壁の一つに、親子（特に父と息子）関係があります。顧問もよくこの手の相談を受けるのですが、そんな時の対応は、「子の言うとおりにさせる」ことだそうです。親は大抵、子のすることを何でも反対しがちですが、親は経験から失敗することがわかっていたとしても（大きな失敗でない限り）それをじっと見守り、子が自ら考えたことを経験させることが大切です。また、夫婦間では、奥さんが子供のままで親父の悪口を言わないことが、良い後継者を作るのには重要なことだそうです。

最後に顧問の推薦図書「ローマ法王に米を食へさせた男」高野 誠鮮・著

役所職員の著者があの手この手で限界集落の米をブランド化させ

るという内容で、読み物としても大変面白いそうですので、ご一読ください。

以上、時折冗談を交えながら楽しく講演頂き、盛会のうちにセミナーを終了しました。

## 県南支所

### 支所協議会主催全体交流会開催

12月3日、支所活動推進協議会（杉野昇会長）主催の全体交流会が県南支所において開催され、組合員や家族・従業員及び各関係業者の方々等、約110名が親睦を深められました。当日は好天にも恵まれ、参加者の準備協力も得ながら、無事行いう事が出来ました。

最初に、菊池組合長から酪農情勢について報告を頂き、その後恒例のパーベキューとビンゴゲームで、大いに盛り上がりました。会場内は笑いと活気に満ちあふれ、参加者は明日への活力に繋がる、有意義な1日となりました。

### 女性会2支部が研修会を開催

11月13日、女性会河内南部・下都賀支部（海老原治美支部長）による秋季研修会として、10名参加のもと横浜方面へ研修に行きました。当日は、中華街でグルメを楽しんだほか、赤レンガ倉庫の見学や街並みを散策しました。帰る頃

はすっかり暗くなりましたが、観覧車やランドマークタワーの夜景が本当に美しく、心を癒されながら横浜の街を後にしました。

次に、12月12日には女性会芳賀支部（増山英子支部長）が東京方面へ研修に行きました。当日は30名が参加し、銀座の歌舞伎座において「仮名手本忠臣蔵」を観劇しました。参加者は、歌舞伎独特の雰囲気の中、劇に心酔されました。その後、浅草を散策し、東武ホテルでディナーを楽しみました。

また、2支部ともバスでの研修旅行となりましたが、車中では厳しい酪農情勢も吹き飛ばす様な、明るい笑い声が飛び交い、有意義な研修旅行となりました。最後に、今年も酪農の活性化と個々の経営向上に繋がる様、支所の各事業を展開して参ります。



# 部課だより

## 生乳販売課

平成25年11月度の組合生乳生産量は、昨年同月乳量と比較し102・5%（1万7287t）と、25ヶ月連続し前年を上回る生産となりました。また、累計の受入乳量は、那須高原支所8万7074t（前年比103・7%）宇都宮支所2万1090t（前年比100・1%）、県南支所3万4788t（前年比99・3%）、合計で14万2952t（前年比102・06%）となりました。

出荷者数は、前年同月より27戸減の495戸（内、学校3戸）でした。

また、11月度の乳質は、脂肪率については前年を上回りましたが、無脂固形分率については前年を0・06ポイント下回り、細胞数は前年より向上しております。

尚、11月迄の累計不合格件数は790件となり、前年（918件）を大きく下回りました。

関東生乳販連の11月総受託乳量は、生産量の減（13ヶ月連続）により、前年比97・5%と2245t程減少し、累計でも98・5%の状況です。

用途別の販売数量は、生産量の減少が影響し、飲用向け販売数量は前年比98・6%と3ヶ月連続で前年を下回りました。加工率は5・83%と前年を若干下回る値でした。

また、生産量の減少は全国同様であり、日増しに深刻な状況となっております。

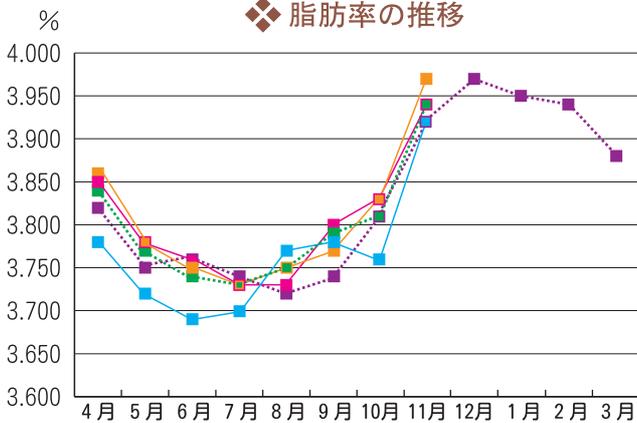
尚、平成25年11月度の生産量・乳質、関東生乳販連の用途別販売数量は別表のとおりとなっております。

関東生乳販連用途別販売数量

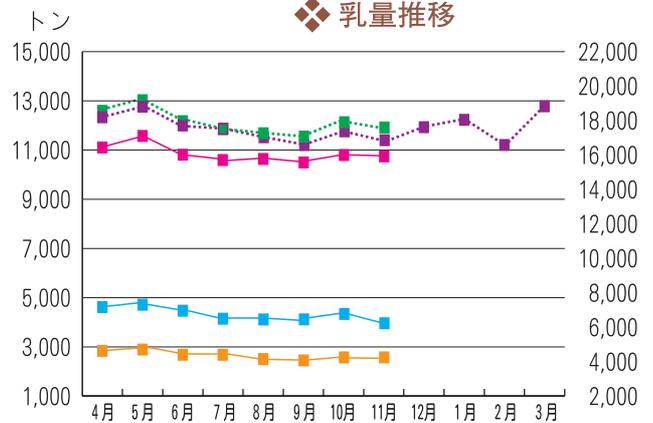
（単位：kg・%）

用途	11月実績	前年実績	前年比	累計実績	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	69,321,640	70,282,267	98.6	567,141,679	562,667,972	100.8
（うち学校向け）	12,648,946	13,486,655	93.8	83,450,363	86,000,588	97.0
はっ酵乳向け	12,850,504	13,407,521	95.8	109,649,896	116,124,762	94.4
特定乳製品向け(加工)	5,202,437	5,517,579	94.3	62,452,857	67,352,761	92.7
（うち委託加工向け）	0	0	-	0	0	-
生クリーム向け	1,718,061	2,140,869	80.3	14,522,928	18,986,122	76.5
チーズ向け	73,693	63,008	117.0	511,924	582,122	87.9
全乳哺育向け	0	0	-	0	0	-
総受託乳量	89,166,335	91,411,244	97.5	754,279,284	765,713,739	98.5
加工比率	5.83	6.04	-	8.28	8.80	-

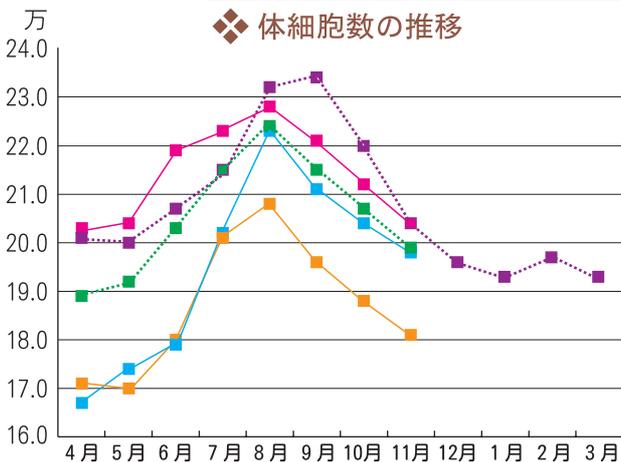
◆ 脂肪率の推移



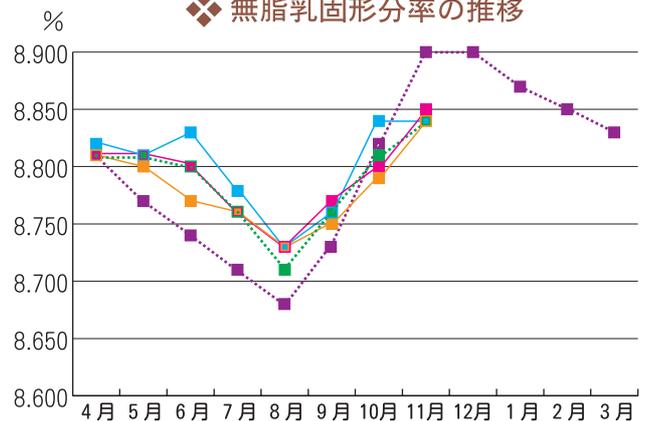
◆ 乳量推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



# 業務部

## 女性会全体研修会

12月9日、ホテルエピナル那須に於いて、酪農とちぎ女性会会員97名の参加を得て、全体研修会が開催されました。

講演会に先立ち坂主副組合長より、酪農とちぎにおける婚活事業の現況をお話し頂きました。

講演会は、「結婚を考える」親の思い・子の思いー婚活時代になったわけーと題して、結婚問題アドバイザーであります、全国地域結婚支援センター（ピコネット）代表、板本洋子氏に講演をいただきました。

板本代表は長年に亘り日本青年館事業の結婚相談所所長をされていたので、日本の婚活状況をつぶさに分かっています。現在の「婚活出会いイベント」は乗る・造る・食べる・観る・趣味等々、多



板本洋子氏



坂主副組合長



種多様なプログラムが展開されていて、何でもある。しかし成婚率はわずか8%。

でも、「何もやらないよりやった方がいいに決まっています。」とおっしゃいます。

時代の変化とともに、結婚の形、パートナーとの関係も多様化していることを再認識し、皆と一緒に考える姿勢が必要ではないでしょうか。

講演会終了後は懇親会場に移動し、昼食を取りながら会員同士和気あいあいと会話を楽しみ、有意義な時間を過ごしました。

## 理事会だより

### 11月度理事会（11月29日）

#### 報告事項

- (一) 業務経過報告について
- (二) 組合資金貸付について
- (三) 組合プール乳価について
- (四) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (五) 平成25年度上半期定期監査報告について
- (六) 栃木県監査委員監査結果について
- (七) 税務調査結果について
- (八) 関東生乳販連情報について

#### 協議事項

- (一) 10月度事業実績について
- (二) 平成25年度配合飼料等特別奨励金の支払いについて
- (三) 平成26年度乳代送金日の設定及び対応について
- (四) 年末手当の支給について

### 12月度 ホクレン初妊牛市場成績 [単位：千円（税込）]

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	（そのうちET牛）		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
南北海道	12月6日	155	147	94.8%	503	24	21	647
釧路	12月11日	334	228	68.3%	488	8	4	641
根室	12月12日	545	458	84.0%	515	31	26	619
豊富	12月13日	514	341	66.3%	490	2	2	666
十勝	12月17・18日	1,165	988	84.8%	538	144	117	637
北見	12月19日	514	462	89.9%	514	8	7	614
合計		3,227	2,624	81.3%	517	217	177	635
前月		3,690	2,574	69.8%	500	241	158	612
前年同月		3,045	2,573	84.5%	515	152	128	625

### 12月度 県内家畜市場成績 [単位：円（税込）]

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
那須（12/15）	ホルス雄	147	146	63	73,500	1,050	45,372	2,896
	F 1 雄	89	89	58	244,650	94,500	190,333	1,600
	F 1 雌	51	51	52	181,650	87,150	141,230	8,996
館林（12/17）	ホルス雄	3	3	84	43,050	38,850	40,250	2,450
	F 1 雄	14	14	96	279,300	179,550	231,675	16,162
	F 1 雌	11	11	87	224,700	151,200	185,754	3,871

初妊牛の1月の動向は、3-4月分娩腹が中心となります。資源的に少ないため需要が多いと一気に価格が高騰することも予想されます。12月は市場によって相場が高騰しており、1月の庭先購買は価格上昇を見込んだものになると思われます。

肥育牛価格の高騰や枝肉相場高を背景に、初生牛の取引価格は全国的に異例の高値相場が続いています。

※初妊牛導入をお考えの方は、価格・分娩月に余裕を持って所轄支所にお申込み願います。

